

「カスリン・アイオン台風70年 水防災フォーラム」を開催します！

河川課

1. 開催趣旨

昭和22年・23年に相次いで来襲したカスリン・アイオン台風は、各地で甚大な被害をもたらしました。

それから70年が経過し、水害の常襲地帯だった一関・平泉地区では、遊水地や堤防などの治水施設を原風景と捉える世代となり、水害に対する防災意識は薄れつつあります。一方で、短時間の集中豪雨や局所的な豪雨等により、施設機能を上回る洪水の発生頻度が高まることが予測されています。

そこで、カスリン台風から70年の節目に、これまでの水災害の教訓と近年の気象状況などを知り、そして、地域の未来のために、安全を守る「水防災」を一緒に考える機会として、「カスリン・アイオン台風70年水防災フォーラム」を開催します。

2. イベント概要

1. イベント名 カスリン・アイオン台風70年 水防災フォーラム

2. 開催日時 平成29年9月9日(土) 10:00~16:30

3. 会場 一関文化センター(大ホールほか)

4. 開催内容

・基調講演

「カスリン・アイオン台風70年に思う」

高崎哲郎氏(作家・土木史研究家)

「増え続ける台風・大雨災害と最新の防災情報について」

～自分の命は自分で守る!～

大隅智子氏(気象予報士・防災士)

・パネルディスカッション

テーマ:「水防災意識社会」の再構築を考える

コーディネーター 岩手大学名誉教授 平山 健一 氏

パネラー 一関商工会議所会頭 佐藤 暁僖 氏

中里まちづくり協議会会長 辻山 慶治 氏

気象予報士・防災士 大隅 智子 氏

国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長 清水 晃 氏

岩手県県土整備部河川港湾担当技監 八重樫 弘明

・その他、アトラクションやパネル展示等を実施

3. その他

・フォーラムへの参加は無料です(事前申し込み不要)。

・当日は一関市役所から無料のシャトルバスが運行しますので御利用ください。



『カスリン・アイオン台風70年』
～風化させない歴史とつなげる未来～

カスリン・アイオン台風70年

水防災フォーラム

日時 平成29年
9/9 土
10:00～16:30

参加費無料

会場 一関文化センター
【大ホール】

〒021-0884
一関市大手町2-16
TEL.0191-21-2121



GoogleMapで見える



風化させない歴史とつなげる未来

開催
主旨

昭和22年・23年に相次いで来襲したカスリン・アイオン台風は、各地で甚大な被害をもたらした。それから70年が経過し、水害の常襲地帯だった一関・平泉地区では、遊水池や堤防などの治水施設を原風景と捉える世代となり、水害に対する防災意識は薄れつつある。一方で短時間の集中豪雨や局所的な豪雨等により、施設機能を上回る洪水の発生頻度が高まることが予測されている。

そこで、カスリン台風から70年の節目に、これまでの水災害の教訓と近年の気象状況などを知り、そして、地域の未来のために、安全を守る「水防災」を一緒に考えてみませんか。

無料
シャトルバス運行
(会場 ↔ 一関市役所)
会場の駐車場はスペースが少いため、満車の際は周辺の市営・民間の駐車場をご利用ください。また、一関市役所～会場間で無料シャトルバスを運行いたしますので、こちらをご利用ください。

13:00～ 基調講演



「カスリン・アイオン台風70年に思う」

【講師】高崎 哲郎 氏
■ 作家・土木史研究家

「増え続ける台風・大雨災害と最新の防災情報について」

～自分の命は自分で守る!～

【講師】大隅 智子 氏
■ 気象予報士・防災士

NHK盛岡放送局
「おぼんですいわて」の
気象キャスターとして出演中!



15:15～ パネルディスカッション

テーマ「水防災意識社会」の再構築を考える

- コーディネーター 平山 健一 氏 岩手大学名誉教授
- パネラー 佐藤 晁 氏 一関商工会議所会頭
- 辻山 慶治 氏 中里まちづくり協議会会長
- 大隅 智子 氏 気象予報士・防災士
- 八重樫 弘明 氏 岩手県県土整備部河川港湾担当技監
- 清水 晃 氏 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長

10:00～ ステージ・アトラクション

- 舞川鹿子躍
- 一関市消防団総組
- 平成28年度「土砂災害防止に関する作文」入賞作品発表会
- アイオン台風体験「生きる」千葉貞子さんによる紙芝居と体験談
- 「北上川」記録映像放映

終日 展示：1Fホール及び展示室

- 一関市
 - ▶ 一関市立滝沢小学校の学習展示
 - ▶ 防災グッズ展示
- 岩手県
 - ▶ 最近の治水事業について
- 岩手河川国道事務所
 - ▶ パネル展「風水害の歴史を知り、未来の備えに」
 - ▶ 一関今昔写真展「台風被害から70年」

共催 一関市、岩手県、一関商工会議所、北上川「流域圏」フォーラム実行委員会、国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

協賛 (一社)東北地域づくり協会

後援

岩手日日新聞社、岩手日報社、ICN一関ケーブルネットワーク、一関コミュニティFM株式会社

お問い合わせ

一関市 建設部 治水河川課
TEL.0191-21-8501
岩手河川国道事務所 調査第一課
TEL.019-624-3166